

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼこぼこ、ぶちぼこ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 20日		～ 2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		～ 2026年 1月 30日

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童自ら考えて行動ができるようSSTやグループワークを実施している。	ペアレント・トレーニングを基本とし、できた内容ではなく、自ら行った行動を認めていく。	SSTやグループワークは、何度も繰り返して理解を深めていく。ただし、マンネリ化しないよう配慮する。
2	小学生とも関わりが持っている機会を積極的に設けている。	祝日の他、夏祭りやハロウィン、卒業・進級会等、小学生と合同に関わりが持てる場を提供し、人間関係が学べる機会を積極的に設けている。	児童たちが主体となり、達成感が得られるよう、指導員がさりげないサポートや支援を行う。
3	相談室を設けて、関連施設ともスムーズに連携できる体制を整えている。	相談員は、児童と日々関わりを持っており、児童の特性や課題を把握しやすい。また、他の指導員とも協議して、児童の利用計画を立てている。	個別支援計画と相談室の利用計画をリンクさせ、児童の課題やニーズに細やかに寄り添っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お迎えの時間に、職員（指導員）がドライバーとしてお迎えに行くため、事業所の職員の数が少なくなってしまう。	送迎専属のドライバーがいればよいが、現時点では余裕がなく難しい。	効率的な送迎計画を立てる。
2	地域との連携が弱い。	地域連携の首頭を取ることは、現段階では余裕がなく難しい。	地域の連携は、できれば参加したいと考えているため、今後はできる範囲で検討していきたい。
3			